

栃木県社会福祉士会会報



〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会
TEL 028-600-1725 発行責任者 原田 欣宏
FAX 028-600-1730 編集責任者 長 秀紀
ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

46号

発行日 平成28年6月30日

羅針盤



社会にインパクトを与える 社会福祉士を目指して

(一社) 栃木県社会福祉士会会長 原田 欣宏



羅針盤	1
栃木県社会福祉士会新理事・監事紹介	2～4
一般社団法人栃木県社会福祉士会組織図	5
福祉士おもしろいタケリレー	6
今日の一冊	6
授産製品・店舗紹介	7
福祉士会通信	8
編集後記	8

平成28年度5月の定時総会にて任期満了に伴い退任された檜山光治会長の後を引き継ぎ、栃木県社会福祉士会の会長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

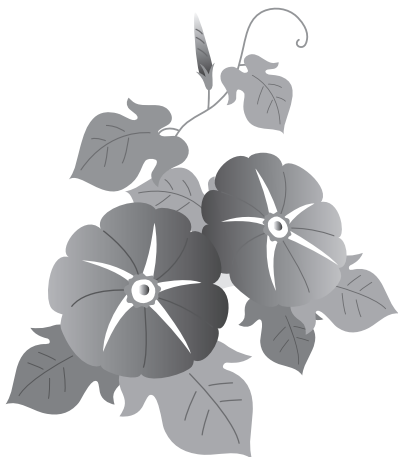
まずはじめに、このたび理事および監事を退任する役員各位のご尽力に、会員を代表し心より感謝申し上げます。特に檜山前会長には平成21年より副会長、25年より会長として本会の組織・運営の基盤を整備していただきました。平成26年4月より一般社団法人への移行に伴う様々な変革は、檜山前会長抜きでは成しえなかったことです。行政での長年にわたる経験、人脈とソーシャルワークにより、力強く会をけん引していただきました。また、今後の社会福祉をとりまく情勢から本会のあるべき姿を見据え、中期計画をまとめ上げていただきました。私たちの「羅針盤」として勇気を与えていただくものと感激しております。財政的に困難な状況を克服し、運営を軌道に乗せていただいたご苦労は筆舌につくし難いものがあります。「我慢の時」を多くのご苦労を抱えながらコツコツと組織改革を進めていただいたことをかみしめながら、本会を必ず発展させる決意です。会員を代表しまして、改めて深謝申し上げます。

さて、社会福祉の分野では「地域包括ケアシステム」と名前を付け、「自助」「互助」「共助」「公助」のすべてのケアが提供できる方法を模索しております。地域特性に合わせた対応をどのように構築するのか、その設計はまさに福祉の専門知識と技術を持った社会福祉士もその議論に交わり、生活や人と人とのつながりを意識した改革を進める人材となるべきです。

私たち社会福祉士は、これまでどのように地域や人にかかわり、福祉の実現に貢献してきたのかを今一度振り返ってみてください。そこに暮らす人のために所属する組織のサービスなどを利用しながら、生きる力を高めるための努力をしてきているはずです。何か困ったことがあれば対応し、その人の身になって課題を解決する力があることを広く社会に理解を得ることができれば、幸福に近づくための時間は早くなるはずです。

「社会にインパクトを与える」とは、地道にソーシャルワークを展開する私たちの活動内容を専門職間での共有のみならず、社会に向けて「情報発信」することにより実現します。貧困・虐待をはじめとした様々な課題には、地域や生活に根ざした問題を抱えており、そこにアプローチすることを社会は求めています。地域における本会会員の活動が社会に新しい風を送ることができるよう、組織体制を整備構築することが最大の課題と心得、運営してまいります。

会員の皆様の積極的な参画と活動を期待しております。



栃木県社会福祉士会新理事・監事紹介

平成28年5月29日に行われた第3回定時総会において新たに理事・監事に就任された皆様を紹介します。掲載内容は、①氏名、②氏名ふりがな、③所属名称、④職種名、⑤マイブーム、⑥社会福祉士の役員になつての抱負

会員理事

①鮎瀬 正

②あゆがせ ただし

③那須塩原市社会福祉協議会
多機能型事業所 心の里

④施設長

⑤白菜キムチと蕎麦打ち。そしてミニ
トマトのコンポート白ワイン漬け。

ヤンニョムはアミの塩辛、イワシの魚醬、にっこり、もち粉は必須。

蕎麦粉1kgの水回しは餅つき機で2分。40人前となると2時間はもらいたい。

『これらを廻し繋げば人付き合いが上手いき、「生きやすく」なること請け合い。』

⑥市福祉事務所で生活保護等福祉六法の現業員でスタート。福祉在職は21年間。

身近で「社会福祉士の名称は聞いたことがあるが、実はよくわからない。何する人？」と言われる実態があるのはなぜか。問い直し、一緒に考えたいと思っています。

総務企画委員会担当、微力ですが県士会の発展に貢献できればと考えております。よろしくお願いいたします。

①大石 剛史

②おいしい たけし

③国際医療福祉大学

④教員

⑤ランニング継続中 1年に1回はフルマラソン完走を目指します！

⑥調査研究委員会の担当理事をさせていただきます。栃木県の社会福祉の向上に資する研究ができればと考えておりますが、現場の方にも入っていただきながら、実りある研究ができればと考えております。現在計画している研究テーマは「栃木県の高齢者の貧困状況に関する研究」です。ご関心のある会員の方がいらっしゃいましたら、ぜひ、調査研究委員会に入ってください。

①大友 崇義

②おおとも たかよし

③栃木市特別顧問

④非常勤特別公務員

⑤1) 趣味：ピアノ・俳句・油絵・B
S番組 2) 信条：往相還相

⑥社会福祉士になって30年になる。10の会員が約500名になった。2016年から国の政策が高齢者中心から全世代・全対象型にガラッと変わった。社会福祉士の専門性は、「総合医」のような専門性が問われることになった。タテ割りからヨコの連携ができる社会福祉士がこれから生き残る。自らも、会も変わらなければならぬ。

①小林 恵美子

②こばやし えみこ

③栃木市社会福祉協議会 藤岡支所

④ケアマネジャー

⑤手芸の中でも、最近はまたハワイアンキルトに取り組んでいます。ところ

ろが、世の中ハワイアンキルトのブームが去ってしまったのか、近所の手芸店で取り扱うハワイアン風の布地が極端に減ってしまって大変苦勞しているところです。何事もブームに乗っかることは必要なのでしょうか…。

⑥今回二期目の理事に就任いたしました。私がいつも思うことは、とにかく会員の皆さんにとってわかりやすく役に立つ社会福祉士会でありたいということです。特に定期総会について、多くの会員の皆さんが出席したくなるような集まりになったら最高ですね。

担当する「権利擁護センターぱあととちぎ」についても、活動することが楽しくなるような組織を目指しています。よろしくお願いいたします。

①篠崎 文男

②しのぎさ ふみお

③社会福祉士事務所

④社会福祉士

⑤サッカーのプレイや観戦、私の生

活の一部になっている。

今までヨーロッパサッカーを10回以上、現地で観戦したことがあります。

⑥今年度から理事になりました、篠崎です。

皆様のため、少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思っています。

また、個人の事業では、制度にとらわれない活動をしていきたいと思っております。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。

①高田 美保

②たかだ みほ

③一般社団法人社会福祉士事務所にじみる

④理事／社会福祉士

⑤昨年久々に行った野外フェス。生

バンドをBGMに外でビールを飲む気持ちよさ。バンドチェンジの時にローディーさんのお仕事を見られることも密かな楽しみ。今年も1回は行きたい！

⑥権利擁護委員会を担当します。全ての人ひとりひとりを大切にする社会福祉士会でありたいと思います。私たちのあり様そのものが人々のエンパワメントにつながっていくと信じています。

①立川 正史

②たちかわ まさし

③那珂川町地域包括支援センター

④社会福祉士

⑤猫と赤ちゃん。私の家に2歳4カ月の猫と9カ月の人間と、雄が一

匹ずついるのですが、種を超えて一緒に遊んでいるのを見ると本当の兄弟のようで微笑ましいです。癒されます。

⑥地域包括ケアシステムというものが一つのトレンドになっています。この中で社会福祉士は中心的な役割を担うかと思われましたが、反対に影が薄くなってきているような気がしています。この10年は社会福祉士にとっても正念場になるのでしょうか。微力ながらお手伝いできればと思います。

①長 秀紀

②ちょう ひでのり

③社会福祉法人 愛光園（足利障害者相談支援センター）

④相談支援専門員

⑤マラソン（5km～できればハーフ再挑戦）、水彩画スケッチ（旅先でスケッチ）

⑥広報を通して、会員の交流と有用な情報発信を心がけます。ホームページについては、情報発信のツールとして十分活用できるように整備していきたいと考えています。皆様のご協力あつての活動になりますので、どうぞよろしくお願い致します。

①永島 徹

②ながしま とおる

③NPO法人風の詩 社会福祉士事務所「風のささやき」

④社会福祉士

⑤家族と過ごすガーデニング・タイム！

⑥出来るがきり、心ある皆様と有意義な取り組みが出来るよう、努めていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

①原田 欣宏（会長）

②はらだ よしひろ

③高崎健康福祉大学

④教員

⑤今年度より「ほほ日」手帳に替えてみました。使い方を試行錯誤してます。（求！情報交換！！）

⑥会長としての在任中は「ブロック活動」の活性化に最も注力します。「大切のためになることを楽しく」やりましょう。

①増田 俊雄

②ますだ としお

③（一社）栃木県社会福祉士会

④事務局長

⑤この間、孫の世話係りで保育園の送迎を毎日行っており、中々ライフワークの山登りも思い通りにはなりません。それでも、ジイとして関われるのも時間が限られているのでしょうから、楽しんでやっています。

⑥引き続き、前回及び今回の立候補での抱負の具体化に努力したいと思います。

①事業計画及び中期計画の着実な実践

②組織・財政の強化・安定化・健全化

③公益社団法人化への取り組み

①増渕 祐子

②ますぶち ゆうこ

③医療法人渡部医院 地域包括支援センター秋桜の家 / 居宅介護支援事業所秋桜の家

④主任ケアマネ / ケアマネ

⑤愛犬黒パグのモモと過ごすこと。何より至福の時です。

⑥ブロック委員会担当理事として、ブロック内での会員相互の顔の見える関係作りとブロック活動の更なる充実に一所懸命努めて参ります。結果的にブロック活動の充実が、県社士会の機能強化・加入促進にもつながると思います。社会福祉士が地域でより活動の場を広げるためにも、職能団体である県社士会を元気にしましょう。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



①福田 恵美子

②ふくだ えみこ

③長野保健医療大学 保健科学部

④作業療法士、教員

⑤種々の領域の書籍を読み漁っています。書籍から、物事の源流を探ることを楽しんでいます。

⑥理事就任二期目となりました。他職種から見た社会福祉士会は、地域包括支援において、マネージャーとなって地域を牽引していく職能団体ではないかと感じています。

広く社会貢献をしている社会福祉士会の地道な活動を、弱小団体の作業療法士の立場から応援していけたらと思っています。

今期もどうぞよろしくお願い致します。



①松永 千恵子 (副会長)

②まつなが ちえこ

③国際医療福祉大学

④教員

⑤仕事と母の介護に追われてマイブームを持てない状況にあります。いつか時間的ゆとりが持てたら、マイブームが来るかもしれません。

⑥栃木県社会福祉士会の会員さんにとって有益となる研修を行っていく所存です。



①新井 重陽

②あらい しげあき

③とちぎユースアフターケア事業協同組合

④事務局長

⑤特にありませんが、強いてあげれば読書（妻が読み終えた推理小説などの文庫本を読む）くらいです。

⑥十分な活動ができず申し訳ありませんが、今の仕事を通して児童福祉の分野においても社会福祉士の活躍できる場が広がりますよう、努力していきたいと思っています。



外部理事

①高橋 昭彦

②たかはし あきひこ

③④ ひばりクリニック / 院長、認定特定非営利活動法人うりずん / 理事長

⑤三線弾き語り 最近ひいたのは海の声です

⑥引き続き外部理事をさせていただきます高橋昭彦と申します。重い障がいを持つ子どもとご家族が、当たり前の暮らしができるような社会を目指して活動しています。当事者の思いに寄り添い、地域でネットワークを広げながら必要なことをやっていきましょう。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



①渡辺 みゆき

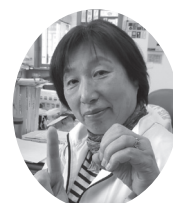
②わたなべ みゆき

③社会福祉法人 河内四つ葉会

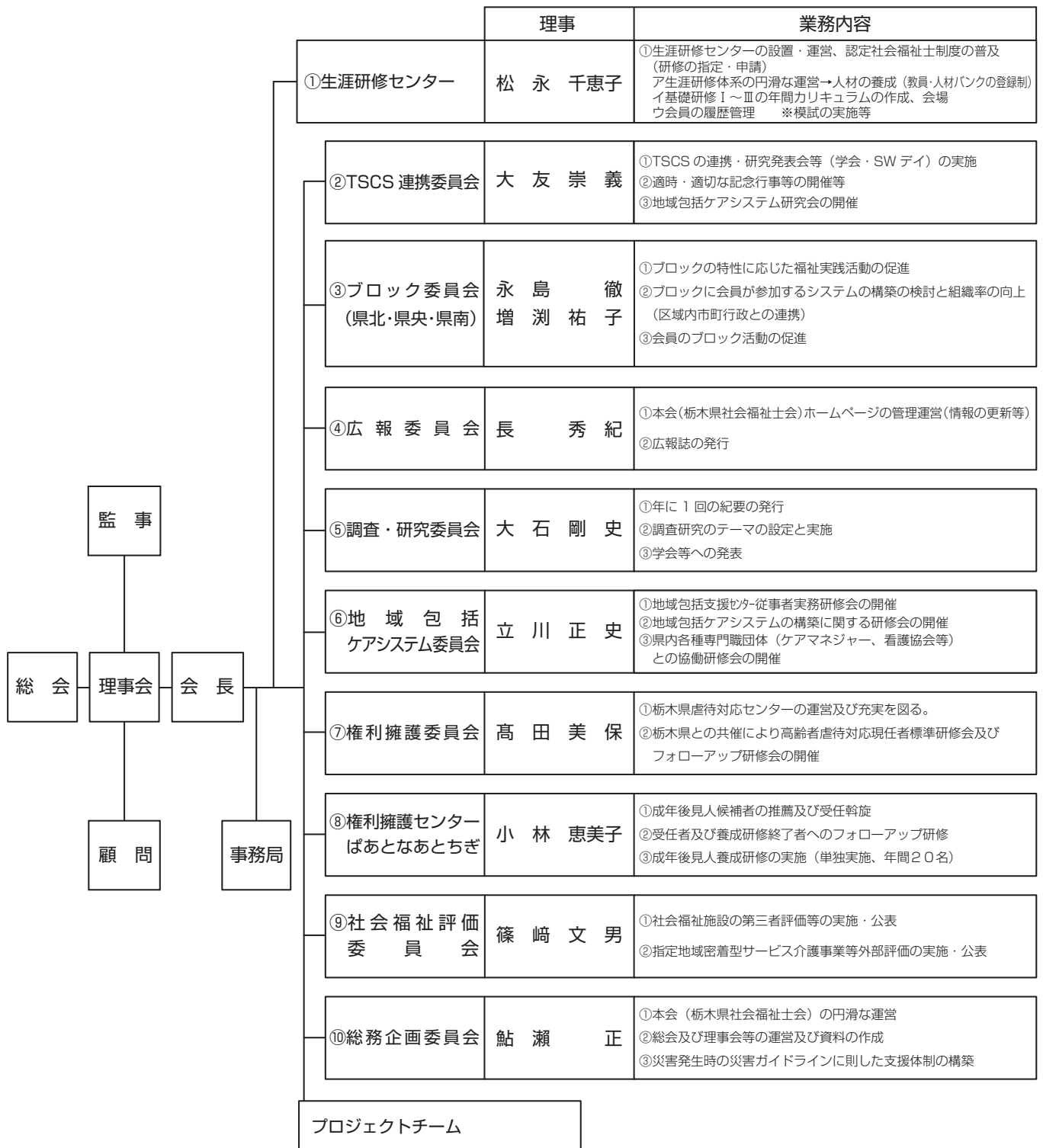
④施設長

⑤酵素ジュース作り（免疫力が高まっています）

⑥素晴らしい方々の中で十分に勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。



平成28年度 一般社団法人栃木県社会福祉士会 組織図



	リーダー	業務内容
○実習指導者養成	蛭 田 真 弓	①実習指導者養成研修の実施 ②実習指導者フォローアップ研修の実施
○スクールソーシャル ワ ー ク 活 動	土 屋 佳 子	①子ども支援ネットワークの構築を促進する各種研修会を開催する。

福祉士 おもいのたけリレー

県内で活躍する社会福祉士が、実践への「おもいのたけ」を語っていくコーナーです。このコーナーは、リレー方式で次の社会福祉士につないで掲載していきます。

掲載内容：①氏名(ひらがな)、②所属、③趣味、④実践へのおもいのたけ

- ①荒川 淳(あらかわ じゅん)
- ②GENKI NEXT 佐野 浅沼(地域密着型通所介護)
- ③バレーボール。ジャズ。(モダンなジャズ喫茶でのんびり) 愛車でドライブ～



④15年間。19歳から34歳まで。僕が福祉という業種に携わった時間です。高齢者介護ヘルパーから始まり、障がい者・児の就労生活支援を6年。高齢者介護を5年。現在は、佐野市でリハビリが必要な方たちへの介護予防支援のため「機能回復訓練」と「歩行改善訓練」に取り組む日々です。

あつという間でした。15年間の中で、どれだけの方たちと出会い、別れを惜しみ、失敗をし、喜怒哀楽を経験してきたのだろう。そのすべてが大切な宝物であり、僕の誇りです！

さて、そんな想いを胸に。僕は今、佐野市で地域密着型の通所介護事業所で地元の方たちの心と体を元気にするサポートをさせて頂いております。毎日が、とにかく熱いです！私よりも30歳以上も年の離れた大先輩の皆さんが「歩きたい！」「外へ出たい！」「夜遊びしたい！」と本気で想い、継続的なリハビリテーションに弱音を言わず懸命になる姿。感動です！

そんな業種にも、変革がありました。今年4月から総合支援事業が始まり、地域の多種多様な業種の方たち(医療、福祉、学校、ボランティア、自治会など)が総合的に地域住民に対して支援をしよう！というものです。

現場の声。利用者さんの声。家族の声。経営者の声。政治家の声。出来るだけ多くの声を聴き、結果このような改革が必要だとなったのなら素晴らしいことだと思います。

どんな法律になり、どんな改正が行われたとしても、目前にサポートが必要な方たちがいる事には変わりありません。福祉士として必要な技術や知識、想いを目の前の方へ繋げる事を第一に。その信念で16年目を迎えています。

しかし、その信念をずっと持ち続けるのは大変ですよ？

私が今、このように頑張れるのは、嫁さんや息子…そう、家族がいるからなのです。一番身近な人たちを大切に、幸せにすることが、まず僕の社会福祉士としての第一歩。その存在があるからこそ、仕事にも前向きに地域の方たちにも本気で向き合えるのだと思っています。

皆さんも同じではないでしょうか？

今回は、高根沢町障害児者生活支援センターすまいるの菅間直子さんにバトンをつなぎます。

今日の一冊

社会福祉士が日ごろの実践に関連する本を紹介するコーナーです。

今日は、『共生社会を切り開く 障害者福祉改革の羅針盤』

(有斐閣 2015) 佐藤 久夫著を紹介します。

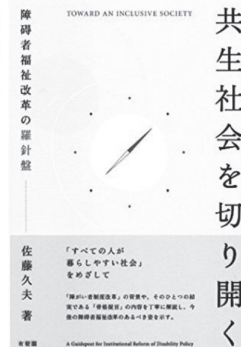
本著は障がい者制度改革の主要成果の1つである「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」(以下「骨格提言」)の解説書であり、著者はその部会長を務めた。

障がい者制度改革の基礎的考え方では、障害者が普通の市民、平等な権利主体として普通に地域社会に参加することが目指すべき共生社会であり、その参加のために必要な支援や環境を用意するのがあるべき障害者制度である、としている。「骨格提言」がまとまった後、障害者総合支援法の制定、障害者差別解消法の制定、障害者権利条約の批准へと続く。

「骨格提言」は国際的指針である障害者権利条約と、国内的指針である「障害者自立支援法違憲訴訟における基本合意文書」の実現を目指している。55人の委員のうち半数以上が障害当事者、家族であり、事業者、自治体、学識経験者と共に立場と意見の違いを越えて議論した。部会の運営は行政主導ではなく委員主導であり、障害当事者の参加確保のための配慮として、手話や点字資料などの情報保障、知的障害者のサポート者の配置のほか、言葉が理解できない際はイエローカードを掲げて説明を求める、などが実施された。

「保護の対象から権利の主体へ」「医学モデルから社会モデル(ICFでは統合モデル)へ」を基本理念に、①利用者負担の見直し、②対象となる障害の範囲の見直し、③地域自立生活支援の充実、④調査・予算措置が重点課題として示された。

「骨格提言」は障害者総合支援法に十分反映されておらず、著者は、それゆえに本著は障害者福祉政策にとって重要性があり、「骨格提言」の実現のための今後の取り組みに活用してほしい、としている。我々社会福祉士には、社会資源の開発、制度政策の改善・創設、更にこれらのプロセスへの当事者の参加を支援する等、クラスアドボカシーやソーシャルアクションが求められている。本著は、障害者も安心して暮らせる共生社会を切り開く羅針盤であり、我々の支援の在り方を指し示している。(障害の表記は著書のままである) (国際医療福祉大学教員 山口 佳子)



授産製品・店舗紹介

このコーナーでは、障害のある方々が作る授産製品や販売する店舗をご紹介します。

ベーカリーくわの実

私たちは、社会福祉法人つむぎ、多機能型事業所くわの実です。平成14年の開所と同時に、「ベーカリーくわの実」をオープンし、それ以来、安全でおいしい手作りのお店として、地域の皆様の評判を得ています。

当店は、原材料にこだわり、安心安全な商品を製造しています。またパン工房のオープンも、ドイツ製の石窯オープンやコンベクションオープンを使い分け、多種多様なパン・焼き菓子を製造しています。

自慢の商品は、イギリスパン・菓子惣菜パン・クロワッサン・ラスク・プリンなどで、これらを「くわの実ブランド」とし、多くのお客様に愛されお買い上げ頂いています。今回は、売れ筋ナンバーワンの「Soie(ソワ)プリン」を紹介します。Soie(ソワ)とは、フランス語で「絹」、絹のような舌触りの濃厚プリン、キャラメルは少々ビターで大人の味わいの本格プリンに仕上げております。レシピも、有名パティシエ直伝で、厳選した卵・牛乳、そしてバニラビーンズを贅沢に使用しており、カップやパッケージにもこだわりました。1個200円と少々高いですが、一口食べて納得いただけるかと自負しています。

さらに、今年は原材料に「シルク水溶液」を使用

した「プレミアム Soie」、正真正銘のシルクプリンを発売しました。小山市の結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録されたのを記念し、開発した商品です。1個230円。

「Soieプリン」とまた一味違う「プレミアム Soie」をご堪能下さい。くわの実、第2くわの実、道の駅「思川」・「西方」、おやま本場結城紬クラフト館などで、好評発売中です。

私たちは、利用者と共に、日々安心安全でおいしい商品の開発製造に努力しています。その心のこもった逸品を、是非お召し上がり下さい。

営業時間：月～金 8:00～17:00

定休日：土曜日、日曜日

社会福祉法人「くわの実」

小山市犬塚87-7

連絡先：電話/FAX 0285-25-8111



就労支援 will

就労支援 will は平成16年に介護サービス事業を行っていましたが、平成23年に障がい者施設に転換しました。精神障害の方を中心に、知的障害や自閉症の方も一緒にそれぞれの個性を生かしながら同じ作業をしています。自主製品のスラッシュキルトバッグをはじめ、縫製品に取り組んでいます。最近は裂き織バッグ等も手掛けています。

ステンドグラスは4年前に作家さんと出会い、ボランティアで教えていただいていた商品販売数を拡大しています。全国でもステンドグラスを取り入れている事業所は1～2か所という事で、不安と期待がありました。初めて見る器材やガラスの種類や色の多さに戸惑いました。職員も初めて行う作業です。日々勉強し、利用者さんの指導が始まりました。手先が器用な人、感性豊かな人、デザインを得意とする人、それぞれの個性が光り輝きました。製作には細かい作業工程がいくつもあります。毎日コツコツと作業を行い技術力もアップしてきまし



た。イベント販売、県内のカフェや東京のショップへの納品、インターネットでの受注など、少しずつ販路も拡大しています。

そして、技術を取得した利用者さんを中心に、一般の方を対象にしたステンドグラス教室を開催し、交流を深めています。

will のステンドグラス製品は、同じものは二つとないこの上ない逸品です。事業所についてはホームページやフェイスブック、とちぎセルフセンターのウェブサイト内の事業所紹介をご覧ください。

営業時間：月～金 10:00～15:00

土・祝日 10:00～12:00

定休日：日曜日

有限会社 will 就労支援 will

宇都宮市一条2-3-17

電話/FAX：028-633-0003

Mail：myantb810@bb.emobile.jp

HP：http://support-will.com/

FB：https://ja-jp.facebook.com/myantb810.Will/ 県北



栃木県社会福祉士会のブロック会・委員会・PT(プロジェクトチーム)の活動を紹介する掲示板です。

福祉士会通信

* 社会福祉士の皆さま、日頃の実践の質を高めるため、福祉士同士の輪をつくるため、是非会活動に参加しましょう。
福祉士以外の方におかれましては、ブロック会等で研修会等を企画しております。是非ご参加ください。
お問い合わせは、栃木県社会福祉士会までお願いします。

県北ブロック、広報委員会、地域包括ケアシステム委員会、生涯研修センター(委員会)

県北ブロック

～今年度の事業計画～

- ・『合格者を祝う会』

日時：平成28年6月28日(火) 19:00～

場所：旨飯処「のふうぞ」(大田原市浅香3-3731)

* 新合格者だけでなく、行政・病院・福祉施設・学校などで活躍中の社会福祉士等が集い、楽しく情報交換をしました。

- ・『事例検討会&情報交換会』

日時：平成28年9月3日(土)

【第一部】『講義とグループワーク』 13:30～

場所：ハロープラザ(那須塩原市関谷1266-4)

内容：成年後見制度入門

テーマ：「社会福祉士が行う成年後見とは？」

～その実践事例と課題を考える～

講師：社会福祉事務所 にじみる

高田 美保 さん

【第二部】『情報交換会』 17:00～

場所：たかはらオートキャンプ場

(那須塩原市関谷268-5)

内容：BBQ

広報委員会

長 秀紀

今回、新しい組織体制になった会において、会報およびホームページの充実を図っていくことになります。

当委員会では、年4回程度委員会を開いて年2回発行される会報内容の検討、編集およびホームページの充実について検討しています。また、各委員の近況など報告しあうなどして和気あいあいとした雰囲気で行っています。直近では6月23日(木)に今回の会報の編集のために委員会を開きました。広報活動に興味のある方募集しています。



福原 健治

地域包括ケアシステム委員会

立川 正史

地域包括ケアシステム委員会は今年度より新たに立ち上がった委員会です。この場では地域包括ケアシステムについての詳細は語りませんが、日本の社会保障政策全体の方向性を変えるほどのインパクトのある概念だと思われます。研究者の猪飼周平は同システムについてソーシャルワーク的要素を中核とするシステムであり、ソーシャルワーク理論構築の正否が同システムの有効性に大きな影響を与えると述べています¹。それでは、そのソーシャルワーク理論は誰が構築するのでしょうか。やはりそれは社会福祉士でありたいと思いますし、その為の土壌を当委員会で整備していきたいと思っています。関心がある方は是非ご参加ください。¹「書斎の窓」用原稿(2010年)。

生涯研修センター(委員会)

菱沼 勲

平成28年度の生涯研修センターとしての研修は、基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの開催と年2回の任意研修を行う予定です。基礎研修は社会福祉士にとって共通に必要な知識や技術を獲得することを目的としています。社会福祉士の資格取得をしたばかりの方はもちろん、すでに実践に携わっている方も多数受講しており、大変ためになったとの声をいただいています。平成29年度より成年後見人養成研修を受講するには、基礎研修Ⅲまでの修了が受講要件となります。また、認定社会福祉士の認定にも基礎研修の受講は必須要件となっています。

任意研修においては、7月2日(土)に『生活困窮者の支援』～他分野に渡る支援の取り組みについて～を実施※します。10月29日(土)に第2回目の任意研修を行う予定です。内容については現在調整中で、内容が確定次第順次ご案内いたしますので、多くの方の参加をお待ちしております。

※会報の配布時には終了となってしまうことをご了承ください。

編集後記

4月に発生した熊本地震から2か月が経ち、梅雨の大雨がさらなる被害をもたらしています。これ以上災害が起こらないことを祈るばかりです。(折田)